

KUNISAKI
くにさき巨巻！
幟に
掲げる
大松明

Contents

- 2 平成30年度 決算の概要
- 11 国東市景観条例に基づく届出制度について
- 14 初秋のイベントダイジェスト
- 22 秋のイベント情報

9月10日に、国見町赤根の赤根社で「赤根善神王祭り」(市指定無形民俗文化財)が行われました。この祭りは、江戸時代に赤根地区の人々が賀来神社(大分市賀来)から善神王を分霊したのが始まりといわれており、ご神体は表紙中央にそびえる3.5メートルの幟(のぼり)です。祭りの見どころは、約8メートルもの大松明を竹竿で立ち上げる場面。大松明が倒れないように40分近くの時間をかけて少しずつ突き上げ、見事立ち上がると大きな歓声が沸き起こりました。